

1位

おサイフ非対応でも2万円台でこのサウンドと機能性の高さは買いです

安いのにスペック高すぎ!

最新Android
スマホランキング
エントリークラス部門

2022年9月発売

モトローラ
moto g32

6.5
インチ

Snapdragon
680 4G

4GBメモリ
128GB ROM

2色

SIMフリー ▶ 2万8800円

SPEC ●サイズ／W73.84×D8.49×H161.78mm・184g
●バッテリー容量／5000mAh ●ディスプレイ解像度／2400×1080

家電
批評

BEST BUY

2023年6月号
エントリークラス
Androidスマホ

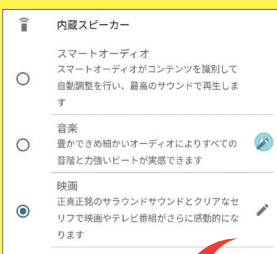
総合

★★★★★ 3.13

ディスプレイと
スピーカーは
ミドルクラス超え

優秀
音質テスト

Dolby Atmos対応の
高音質ステレオスピーカー



ステレオスピーカーを採用し立体音響技術の「Dolby Atmos」に対応。イコライザでのカスタマイズも可能

コンテンツごとに
モードを選択可能



バスブースト ボーカルブースト フラット



AV評論家
折原一也さん

Dolby Atmosは臨場感があり、興行きの再現性にも有効です

Netflixやアマプラも
フルHD画質で楽しめます

●	最高画質
○	高画質
○	標準画質

Androidの場合、DRM（デジタル著作権管理）によってNetflixやPrime Videoなどで画質制限がかかる機種もあります。エントリークラスでフルHD画質再生に対応していたのは本機のみです

優秀

操作性テスト 90Hzディスプレイで
スワイプ操作も快適

引っかかりが
なくスムーズ



ディスプレイは最大90Hzの可変リフレッシュレートを採用。縦横検知とマップの操作には遅れを感じるものの、Webサイトのスクロールやアプリ起動時の反応は良好



編集部
中山

他の60Hz端末に比べるとディスプレイは非常にめめらかで、色温度なども変更できます

ステレオスピーカー、2枚のSIMとmicroSDカードを同時に挿せるトリプルスロット、90Hz駆動のディスプレイ、30Wの急速充電に対応。3万円を切るエントリークラスとは思えない機能を誇る「moto g32」がベストに。チップは昨年発売のエントリーからミドルクラスに多く搭載されていた「Snapdragon 680 4G」を採用。そのためゲームなどの高負荷な動作はやや厳しめですが、SNSやWebといった比較的軽い作業ならそこそこ快適。5Gやおサイフ機能がなければ、格安スマホで最強のコスパモデルにおすすめ!

総合評価
125.0/200点

◎ 高音質なステレオスピーカー ◎ eSIMは非対応
◎ 90Hz対応のディスプレイ × カメラは明るさが足りない

基本性能 (65点)						使い心地 (65点)						エンタメ性能 (70点)					
ベンチマーク (20点)	バッテリー持ち (20点)	ストレージ (5点)	メモリ (5点)	リフレッシュレート (10点)	価格 (5点)	付加機能 (25点)	使い勝手 (20点)	タッチ操作 (5点)	重量 (5点)	発熱 (10点)		ゲーム性能 (10点)	映像の画質 (10点)	映像の音質 (10点)	ディスプレイ (10点)	カメラ (20点)	カメラの使い勝手 (10点)
10.0点	10.0点	3.0点	2.0点	4.0点	5.0点	15.0点	14.0点	3.0点	4.0点	9.0点		3.0点	5.0点	8.0点	7.5点	15.0点	7.5点
5000mAhバッテリーを採用しているので少し物足りないものの、エントリークラスでは唯一、10時間超えのバッテリー性能を発揮。3万円を切る価格ながら128GBのストレージを搭載し、最大1TBのmicroSDカードにも対応しているので空き容量を心配する必要はありません						使いにくい印象が強い純正Android OSに近いUIが気になりました。ただ、動作に合わせて登録した機能を実行する「Motoアクション」など、独自機能が充実。発熱が少なくも高評価です						暗所や夜景の撮影では、鮮明さに欠け、やや限界を感じます。ただ、明るいうちで風景などを撮る分には問題ないレベル。前モデルで評価の低かった動画の手ブレ補正もしっかり改善されています。ディスプレイの画質は価格なりに、明るさ不足で視野角の狭さにも気になりました					